

【基本方向】関係機関・団体と協力した新規就農者や6次産業化による経営発展を目指す農業者等、多様なニーズに対応できる研修体制づくり

評価項目	評価目標	具体的方策	取組状況	評価	成果と課題・次年度に向けた改善策
(1)農業理解の促進から新規就農者の定着まで幅広いニーズに対応した研修の実施	研修参加率:80%	① 段階に応じた研修の実施(継続) 就農を志す人を対象に、段階(動機づけ～準備～就農～経営発展)に応じた研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 動機づけ段階として対象年齢別の「親と子の農業教室(小学生)」「農林業体験教室(中学生)」「オープンキャンパス(高校生)」「園芸教室(一般)」の各研修を実施した。 職場体験学習として最上地域の中中学生や高校生を受け入れた。県内の高校からは学年単位での視察研修の来校があり、本校の学習内容等を紹介した。さらに、今年度から、新庄養護学校の実習受入れも開始している。 就農準備段階として「新規就農支援研修(新規就農希望者対象の1年間の研修)」と、「働きながら学ぶ農業入門講座(就農希望の他産業従事者対象)」を実施した。 就農定着・発展段階として経営力向上のための「農業経営力レベルアップ講座(パソコンでの複式簿記)」を実施した。また、今後「農業経営力養成基礎講座(経営計画作成演習)」を実施予定である。 	B 研修参加率 ・新規就農支援研修働きながら学ぶ農業入門講座、農業経営力養成基礎講座、農業経営力レベルアップ講座)96%	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生や一般県民には、農林大学校と農林業への理解を深めてもらうことができ、各研修の実施内容も好評であった。また、オープンキャンパスでは、参加者が志望学科の学習内容等を直接確認した上で、本校に入校している。 中学生や高校生の職場体験では、各学科における体験学習をとおして、農林大学校や農林業への理解を深めてもらっている。次年度も積極的に受け入れていく。また、次年度の新規事業として「農林大学校キャンパスツアー」を開催し、各学科のカリキュラムや卒業論文の取組み、施設・圃場、学生寮等を紹介し、農林大学校への関心を高めてもらい、将来の本県農林業の担い手育成を目指す。 今年度の新規就農支援研修生は、マスターコースへの継続研修希望者を除き全員が就農予定となっている。今後の定着をフォローするとともに、次年度のカリキュラムでは経営に関する内容を増やす。働きながら学ぶ農業入門講座は幅広い層の参加があるが、本講座を通した新規就農への誘導が課題である。 農業経営力レベルアップ講座は参加希望が多く、開催を当初の1回から2回に増加した。
		② 林業就業者等を対象とした研修の実施(継続) 昨年度から林業に関する研修を実施しており、多様な担い手を対象とした新たな研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 森林関係を選択科目としている高校を訪問し、「林業実践校サポート支援研修」を実施した。また、新たに林業への従事や林業経営に取り組みようとする森林所有者等を対象として「森林経営者養成講座」を開講し、基本的な森林・林業に関する知識・技術研修を実施した。 		100%
(2)6次産業化や新分野導入等、農業者の経営力向上に向けた研修の充実	研修参加率:80%	① 6次産業化や新分野導入等への支援(継続) 6次産業導入等を目指す農業者に対しては、「農業ビジネス支援研修」により農産加工の基礎からスキルアップにつながる講座を実施する	<ul style="list-style-type: none"> 加工部門開始を目指す農業者等対象の「農産加工コース」、新分野の導入を目指す農業者対象の「新分野導入コース」(各1年間)を実施した。 酪農家等の6次産業化を支援する「チーズ加工研修」を実施した。 	B 研修参加率 ・農業ビジネス支援研修94% ・アグリウーマン塾81% ・やまがた農業経営塾92%	<ul style="list-style-type: none"> 農産加工コースでは各種実習への参加率も高かった。今後、各自の本格的な加工開始にあたっては、関係機関と連携しながら支援していく必要がある。
		② 女性農業者の育成支援(継続) 昨年度から「アグリウーマン塾」を開講しており、事業展開を目指す女性農業者を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 「アグリウーマン塾」では全5回での講義、演習、現地研修に加え、希望制のインターンシップ研修や個別相談会を行い、実践力と経営力の習得・強化を支援している。 最終的な受講者が、研修の集大成としてビジネスプランを作成した。 		<ul style="list-style-type: none"> 塾における課題への取り組みや参加者同士の意見交換を通して、受講生の意欲向上が顕著である。普段孤立しがちな若手女性農業者の交流にも繋がっている。 受講者の家庭事情による欠席や参加キャンセルが他研修より多いのが特徴であり、各農業技術普及課と連携したフォローアップを継続していく。
		③ やまがた農業経営塾の新設(新規) 本県農業を牽引していく、優れた経営感覚を備えたスーパートップランナー(生産力の高い企業的な農業経営を展開する経営体)の育成のため、より高度な経営学を学ぶための塾を新設する。	<ul style="list-style-type: none"> 「やまがた農業経営塾」では、全12回の講座で、先進事例調査、事業計画策定手法、商談会への出展を通じ販売戦略についても講座を実施した。また、専門家による事業計画へのコンサルティングを実施し、経営発展のための事業計画策定を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 今年度の新規研修であったが、受講者(修了者)は県内各地から14名に上った。経営理念、事業計画、投資計画等の策定を通じ、受講者からは経営発展への理解が深まったと好評であった。

<p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農段階に応じた研修は対象ごとにきめ細かく実施し、参加者の農林業に対する理解を深めることができた。新規就農支援研修受講者には、就農定着が図られるよう、関係機関・団体と連携し、フォローアップを行っていく。 今年度、高校生の本校見学に対応したが、来年度は高校生向けの「キャンパスツアー」を開催し、本校や農林業への理解促進に努める。今年度新たに、本県農業の中心を担うスーパートップランナーを育成する塾を開設したところ、受講者は意欲的に参加し、好評だった。今後は、受講者の要望等を把握し、次年度の改善に生かしていく。 	<p>評価</p> <p>B</p>
--	---------------------------

<p>学校関係者評価(意見・要望等)→現在の取組状況・次年度の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修生同士がつながりを持てるような取組みをしてほしい。→「アグリウーマン塾」では研修修了生を対象に、今年度もフォローアップ研修を実施し、各自の課題解決を支援している。また、「やまがた農業経営塾」では、本人の了解を得て連絡先を交換しながらネットワークづくりを行っており、「新規就農支援研修」では研修生が自主的にSNSを利用したコミュニティーサイトを構築するなど、必要に応じたネットワークが作られ、活用されている。 	<p>評価</p> <p>B</p>
---	---------------------------